

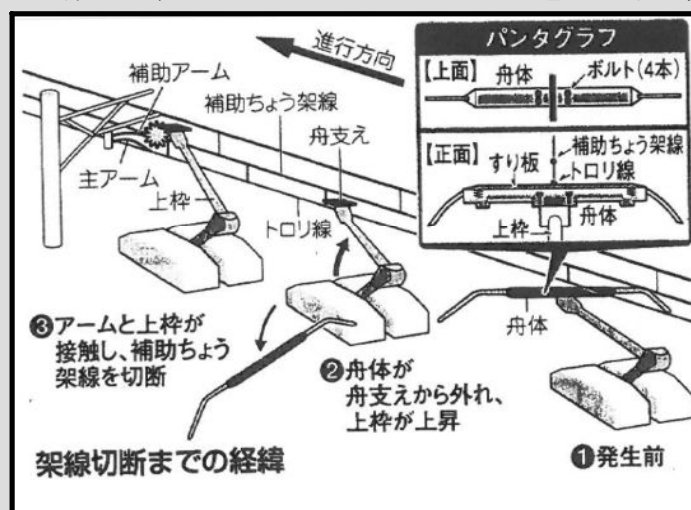
会社は管理責任を否定！ ボルトなしで1,000kmの 走行は不可能だ！

2月26日本部は、中断していた架線切断・停電事故に対する業務委員会を再開し議論を行いました。

現場では2月25日からパンタグラフの特別教育として現物のパンタグラフを使用して、落下した舟体の交換訓練が行われています。その中で、ボルトが締結されていない舟体は、軽く触れただけで簡単に落下することが証明されました。本部は、1,000kmの走行どころか、修理を行った場所さえ移動できないと追及しました。しかし、会社は、「事実として1,000km走行した」との回答に終始しました。

また当日、管理者が希な作業（取替は過去数回、平成21年度は実績なし）と認識しつつも、舟体取替後のチェック体制や取付ボルトの数量管理について何も注意や指導を行わなかったことを認めました。

しかし、その一方で、取替作業は単純で作業者と確認者の単なるヒューマンエラーだとして管理責任を完全否定しました。



ボルトの締結ミスは作業者のヒューマンエラーだ！